

## 社保神戸中央病院を守る住民の会

# 14000筆の署名が議会動かす



62人の地域住民が参加した

『社保神戸中央病院を守る住民の会』(以下、「住民の会」)は2月8日に、すずらんホールで集会を開催し62人が参加。昨年11月の神戸市議会・兵庫県議会に対して行った「公的な医療機関としての存続」を求める請願の報告が行われた。

集会では、署名用紙35,000枚を北区南部地域で全戸配布し、また街頭宣伝も行って14,000余筆もの署名を集めた成果が報告された。

「住民の会」が行った請願は審議未了で廃案になったが、その後、同請願の紹介議員を拒否した会派から、突如「社保神戸中央市民病院の存続・充実」を求める請願が出された。この請願は全会一致で採択され国に意見書提出された。

会場からは「14000筆の署名が議会を動かした」「今後は、全国の住民の会と連携してさらに大きな運動にしていこう」などの意見が出された。

## 健康情報テレホンサービス

### 〈3月のテーマ〉

 **0120-979-451**

- 月曜日 更年期障害とホルモン補充療法
- 火曜日 よく噛むことと認知症予防
- 水曜日 手に『しびれ』が起こったら
- 木曜日 頑固な便秘症
- 金土日 すいみんの問題について



9時30分から曜日ごとにテーマを変え、24時間いつでも、3分間程度の放送が流れます。なお、祝祭日は前日の放送が流れます。

# 兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

215号  
2009年2月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸700生命海岸通ビル5F  
兵庫県保険医協会神戸支部 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

## 支部研究会

# サッカーにおけるスポーツ傷害



リハビリについてなどたくさんの質問が寄せられた

神戸支部は1月24日に、協会会議室で研究会「サッカー選手とけが—チームドクター診療の実際」を開催。県立加古川病院整形外科・リハビリテーション科部長の原田俊彦先生を講師に、医師・歯科医師・市民23人が参加した。

サッカーJリーグヴィッセル神戸のチーム医療の担当医でもある原田先生は、選手、スタッフのメディカルチェックや、スポーツ傷害の診療の実際について解説。プレイ中、練習中のねんざや肉

離れ、打撲などの症状を紹介し、治療方法を説明。また、ピッチ上の応急処置ではアイシングの必要性を強調。スプレーやアイスノンより氷を袋詰めにして冷やす方法が好ましいと説明した。

このほか、一般的な骨折から他院では対応できない難治性の骨折、手の外科手術などバラエティに富む症例を説明した。

参加者からは、「選手のけがの回復が早い理由は何か」などリハビリに関わる質問が多数寄せられた。

## 健康と医療について語り合う会・2カ所で開催

# “乳がん” “食事の取り方” をテーマに



乳がんの基礎知識に40人が参加(左) 嚥下の仕組みを解説する井上氏(下)

### ◆早期発見が大切

神戸ろうあ協会女性部が2月14日に神戸市総合福祉センターで「乳がん」学習会を開催。山辺レディースクリニックの千々和真理先生を講師に40人が参加した。

千々和先生は、乳房の仕組みとがんの発生について解説、「早期発見ができれば治療が可能」と強調し自己検診に加えて定期的な検査が重要と指摘した。

また、医師による視触診、超音波検査(エコー検査)、マンモグラフィの検査で、どの検査が適切かは個人個人の体型によって異なることを解説した。

参加者からは「自己検診の方法とポイントがわかってよかった」「昔は医師による視触診が主流だったが、いろいろな検査があるとわかってよかった」などの感想が寄せられた。



### ◆正しい食事の取り方を学習

神戸支部も協力する聴覚障害者の医療を考える会(略称:いのちの会)が1月24日に、アステップKOBЕで学習会を開催、25人が参加した。今回は「安全な食事の取り方」をテーマに言語聴覚士で東神戸病院の井上香織氏さんが、安全なものの食べ方、のどの仕組みや嚥下障害について解説した。

学習会では、嚥下をしやすくするための体操や、嚥下障害かどうかの自己検診を行った。

## 神戸空港3周年抗議集会

# 空港問題はまだ終わっていない



正午過ぎ神戸市役所前に150人が集まった

市民の反対を押し切って開港した神戸空港が2月16日で3周年を迎えた。神戸の市民団体「ストップ神戸空港の会」(武村副支部長が会長)など22団体が賛同する「開港3周年抗議集会」が16日、神戸市役所前で開かれ150人が集まり、協会からも12人が参加した。

各団体によるリレートークでは、空港島の土地が、わずか6%しか売れていない現状、今年度から約2000億円の借金返済が始まるが、

市は返済の目途をたてていないこと、海上アクセスをはじめ外郭団体の企業がうまくいっていないことなどの問題点が訴えられた。集会では、財政計画、環境や安全性の問題について訴え、海上アクセスの中止や空港をめぐる課題について検証を求めるアピール文を採択した。

22日にはストップ神戸空港が主催の学習会が行われる予定。(次号報道)

## 投稿を募集しています



支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張など、テーマは問いません。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。

FAX 078-393-1802 または e-mail tamura@doc-net.or.jp 担当:田村まで